

ありがとうの中藤

学校便り第10号

令和5年2月15日

福井市中藤小学校



先日「日本の治安が悪くなっている」と感じている人が増えたという新聞記事を目にしました。事実として、フィリピンに在中していた詐欺グループがSNSを通じて多く若者を「闇バイト」として斡旋し、殺人まで引き起こした凶悪犯罪関連のニュースが連日流れています。また、大手寿司チェーンや牛丼チェーンのお店で、備えてある醤油の口をなめ回したり、紅しょうがを容器に口を付けて食べテーブルにわざと散乱させたり、他の人が注文した寿司につばを付けてレーンに戻したりと、本当に人として最低な行為を笑いながら面白がっている姿を見ると完全に言葉を失います。と同時に、まさに日本の「教育力」の衰退を感じ、教育者のひとりとして、心から残念に、そして、大変申し訳なく思います。

私は大学を卒業後、アメリカへ約半年、イギリスやフランスへ1ヶ月程滞在したことがあります。海外へ出て明らかになったことは、いかに日本という国が安全で心豊かな国かということでした。アメリカに住んでいた時ですが、ホストマザーの一番の友達だった人はクリスマスイブに強盗に襲われ銃で射殺されました。また、近所で乱射事件が起き、約10数名の人が一瞬で殺されました。当然ロサンゼルスなどの町を夜ひとりで歩くことなど絶対にできなかった（夜歩く＝犯罪に巻き込まれる認識）です。このことはヨーロッパでも同じでした。常に気を張っていないと鞆や財布を盗まれたり、身の危険を感じる事が普通に起きたりしました。「安心・安全」という言葉は「ほぼ無い」のが当たり前で、それらは自分で責任をもって身を守るしかない国ばかりでした。

しかし、日本は違います。夜コンビニへ女性がひとりで買い物へ行ける国です。鞆や財布を落としてもそのまま持ち主に戻ってくる国です。大きなスポーツなどの大会の後には会場のゴミを観客自ら集めたり、先月末鯖江のサンドームでコンサートがあった際は、歩道の雪を地元の人とその歌手が一緒になって除雪して来場者が歩きやすくしたりと、みんなで力を合わせて「安心・安全」な社会を生み出し、相手を「思いやる」ことができる国「です」。それが、今「でした」になろうとしています。ひとりよがりの自己欲にまみれ、人を傷つけても自分さえ良ければいいという考えの人が増えてきています。実に悲しいことです。

明日の世の中を担う中藤っ子のみなさん。知ってください！そして、ぜひ誇りに思ってください！！この日本という国は、世界でたったひとつだけの「安心・安全な国」なんです。相手を思いやり（おもんばかり）、気遣いができる人が多い国なのです。一部の悪い大人（人）たちに惑わされて、長い歴史の中で作り上げてきた日本文化や日本人の温かい大切な心を決して失わないでください。 中藤小学校長 佐藤 勉（Big Ben）

<2月7日（火）わくわく交流デーが行われました>



2月7日（火）午前10時から、本校1年生が企画・運営した令和4年度「わくわく交流デー」が実施されました。来年度入学予定の園児95名が来校し、1年生の子供たちとダンスをしたり、国語・算数のお勉強をしたり、学校についてのクイズをしたりしてお互いの親睦を深めました。その前の週までは、インフルエンザの感染が広がり、学年閉鎖・学級閉鎖措置があって開催が心配されましたが、この日のために一生懸命準備・練習をしてきた1年生の気持ちがインフルエンザに打ち克ち、予定通りの運営を行うことができました。皆を率いる1年生の姿はまさに「お兄さん、お姉さん」で、園児一人ひとりに寄り添い、親身になって接している姿にはとても感動しました。園児たちの感想も「とても楽しかった」が多く、実り多い1日となりました。

<2月8日(水)「橋爪文庫&勝ち米贈呈式」>



2月8日(水)午後1時30分から「橋爪文庫並びに勝ち米」の贈呈式を行いました。中藤小学校のみなさんはよく知っているように、中藤島地区にお住まいの橋爪寛一様は平成8年より、毎年たくさんの書籍を本校に寄贈してくださっています。今年でその総数はなんと！5,093冊にもなりました。本校の図書室が、北陸三県の学校の中でトップレベルの質を維持できているのは、まさにこの「橋爪文庫」のおかげです。また、今回は今春中学生になる6年生にエールを送る意味で、勝山市のお米「勝ち米」をもプレゼントしてくださいました。本当に「ありがとう」ございます。

橋爪様のお話では、「ありがとうは得をする」や「幸せは一生懸命働くことで得られる」など、人として生きる上で、とても大切なことをたくさん教えてくださいました。

この春中藤小学校を巣立っていく6年生のみなさん、ぜひ今日学んだことをこれからの「生きる糧」として、誠実な心と感謝の心を大切にしながら、より大きく、よりたくましく成長してください。

<なかよしタイム:6年生を送る会に向けて>



<5年生がリーダーとして活躍した「なかよしタイム」の様子>

2月9日(木)の大休みに「なかよしタイム」が行われました。これまで6年生がリーダー役をしてきましたが、今回から5年生が中心となって会の運営を行いました。これまで先輩の姿をしっかりと学びバトンを受け継いだ5年生の姿はとても立派でした。

<歌声委員会の『ありがとうの歌声集会』>

2月13日(月)の大休みに歌声委員会が「ありがとうの歌声集会」を行いました。バラバラになってしまった「ありがとうの歌」の歌声(クリスタルボイス)の結晶が、みんなで楽しく歌うことで、各学年から集まり、最後には中藤小学校の校章が見事に完成しました。



<歌の楽しさと「ありがとう」の心の大切さを伝えた歌声委員会>